



# 算数セット等の教材の 備品化を進めよ

吉川 三津子 議員

## 学校の状況を考慮し 進める

教育部長

### ●市内12小学校に聞きました●

①教材備品化の状況は？

備品化している教材	学校数
算数セット	1校
そろばん	3校
小刀・カッターナイフ	1校
電卓	1校
探検バッグ	1校

②備品化したい教材は？

算数セット・習字道具・絵の具等
-----------------

③水筒のお茶がなくなったときの対策は？

給食のお茶で対応	2校
職員室の水道で対応	1校
緊急時は職員室のお茶	2校
緊急時は保護者へ連絡	1校
なくなるよう大きな水筒持参を指導している	3校
無回答	3校

### ●市内6中学校に聞きました●

①水筒のお茶がなくなったときの対策は？

家庭へ連絡して持参	2校
なくなるよう持参を指導している	3校
無回答	1校

算数セットは2、3年生までしか使わない。保護者の経済的負担を減らすために備品化を進めるべきだが、現状は。

**教育部長** 備品にしているのは、市内で1校だけだ。学校の状況を考慮し進める。

猛暑の中、重いランドセルと大きな水筒を2つもぶら下げて、真っ赤になって通学する1年生をみかけた。ランドセルの重さは40年前の1・8倍

となり、姿勢や骨の発育に影響すると言われ、文科省から「置き勉」を勧めるよう通知文が出ている。多くの学校で対応できていないが、市主導で取り組むべきでは。

**教育部長** 市統一のルールを作るのは難しいが、情報を共有して進める。水筒のお茶がなくなつたときの学校対応について調査したところ、保護者の7割以上が働いているのにも拘わらず「保護

者に連絡して持ってきてもらう」との回答が目立った。また、子どもたちからは「水道水は飲んではいけない」「水筒が空になったら、体育の授業や部活が禁止になる」と学校で指導されている事例も聞いた。学校は教育の場であり、生活の場だ。学校で飲料水に使えない蛇口があればそれぞれ問題だが。

**教育部長** 水道水を飲料に使用することは問題ない。しかし、禁止している学校が1校あり、他は「禁止はしてないが飲んではない」との回答だった。今後、猛暑の場合は、教育委員会としての考え方を示していく。

**どうなった、発達支援センターの計画は**

東近江市の発達支援センターでは、0歳から就職支援まで一生を通して同じ場所で支援が受けられる。本市でも、未就園児親子保育をしている「あいさいわかば」を佐屋北保育園に移設し、発達支援センターに発展させる構想があり、平成27年3月の「愛西市子ども子育て支援事業計画」にも記され、県にも報告している。ところが、人事異動や退職により、現在の職員が把握していないのが現状だ。「あいさいわかば」及び発達支援センターの構想はどうなっているのか。

**健康福祉部長** 情報を集約する場として発達支援センターを検討していく必要がある、第5期愛西市障害福祉計画、第1期愛西市障害児福祉計画で、32年末までに構築したいと記している。

**市長** 「あいさいわかば」は、現在、立田社会福祉会館で運営しているが、運営上多くの問題があると認識している。どの施設でどのように運営するか検討している段階だ。